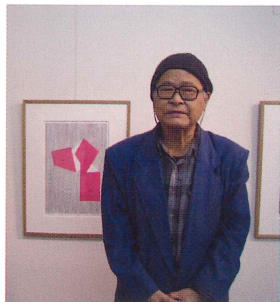


展示概要▶

伝統的な版表現をつき抜けるような、どこかユーモラスで明るく、また色鮮やかな、シルクスクリーンと木版による版表現、それが船坂芳助氏の作風です。直線と曲線、即興の描線が生み出す抽象的なフォルムの楽しさ、また土着性から遠く離れたポップな色彩、フラットに広がる色面など、その今日的な版表現は他に類がありません。

本展では、美濃加茂市民ミュージアム所蔵の版画作品、約50点に加え、氏が近年手がける300種類以上に及ぶ origami シリーズの木版画作品、約90点を紹介します。21mの展示室の壁面に、直線を基調としてダイナミックに構成、展示された origami シリーズは、おなじみの船坂作品の楽しさと相まって、今日的な版表現の楽しさを伝えることでしょう。



◀船坂芳助 yoshisuke funasaka

1939年吉城郡（現飛騨市）生まれ
多摩美術大学絵画科卒業
京都国立近代美術館賞受賞（1970）等、
内外の主要な版画展で受賞。国内を始め
英国、米国等、各地で個展多数開催
文化庁、シカゴ銀行、大英博物館等に作品收藏

イベントスケジュール▶

■船坂芳助氏によるギャラリートーク

7月1日（土）、午前10時 午後2時 の2回開催
参加費：無料 場所：飛騨市美術館第一展示室
※申し込み不要 入館料は別途必要

■館長と絵を見て話そう！

7月16日（日）午前10時～
参加費：無料 場所：飛騨市美術館
※保育園年少～大人まで 申し込み不要 入館料は第3日曜日により無料

船坂さんの版画の中に見えるもの、よくわからないもの、ふしぎなものなど、参加者でお話をしながら、鑑賞を深めます。

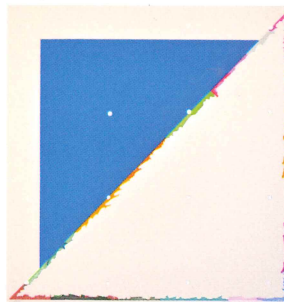
■実技版画ワークショップ「白黒木版画を楽しもう！」

7月22日（土）、23日（日）午後1時30分より（両日）
参加費：1,000円 場所：古川郷土民芸会館

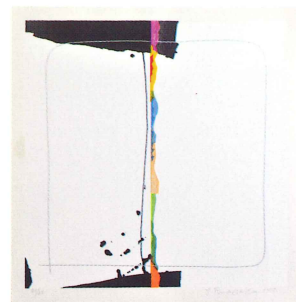
木版画の下絵の作成、転写、彫り、刷りについて2日間で学びます。ばれんを使った日本の伝統的な刷りの方法について、船坂氏より体験的に教えていただきます。

波打つ境界▶

フラットな平面の静けさを打ち破るように、境界に色鮮やかな波が走ります。



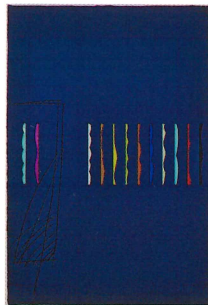
323 (1972)



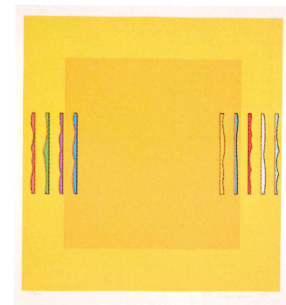
416(A) (1975)

広がる色面▶

ネイビー、そしてイエローの均一な色面。今日的な感覚が画面に広がります。



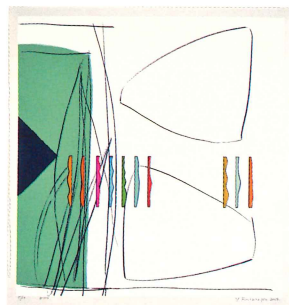
M103 (1993)



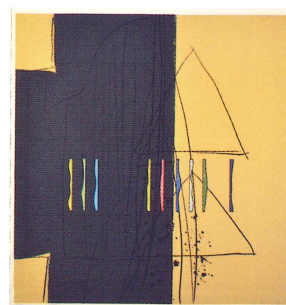
730 (1981)

反復する形・即興の描線▶

繰り返される愉快なかたち、いたずら描きのような描線。楽しい画面が生まれます。



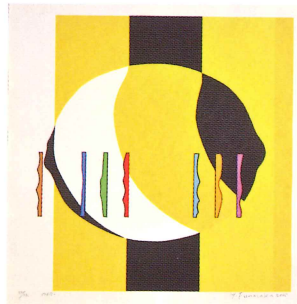
M734 (2008)



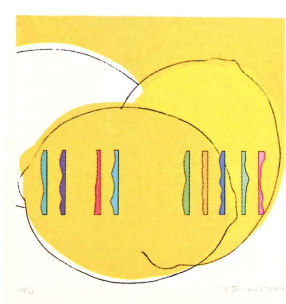
M844 (2010)

レモンシリーズ▶

彩度の高いイエロー、ゆるやかな曲線。レモンの形状は船坂氏に必須のモチーフです。



M611 (2005)



M533 (2004)

© 美濃加茂市民ミュージアム（掲載の8点）

飛騨市美術館

〒509-4221 岐阜県飛騨市古川町若宮2-1-58
TEL: 0577-73-3288 FAX: 0577-73-5003

■アクセス

- ・JRにて、高山本線「飛騨古川駅」下車、跨線橋を渡り徒歩5分。
- ・富山よりJR高山本線・特急で約1時間15分。
- ・名古屋よりJR高山本線・特急で約3時間。
- ・お車にてお越しの場合は、市営若宮駐車場をご利用ください。
- ・東海北陸自動車道、清見ICより卯の花街道を通り約30分。

